

北海道総合地質学研究センター 第3回会員交流会 記録

本交流会は昨年11月28日に予定していた。しかし、新型コロナ蔓延のために中止となり、今回、参加者にはマスク着用をお願いし改めて開催した。Zoomによる配信も検討したが、最終的に従来通りの形態とし、司会は嵯峨山が担当した。

開催日時：2021年1月31日（日曜日） 13：00 開場，13：30 開始，15：50 終了

開催場所：札幌エルプラザ 4階 研修室1（札幌市北区北8条西3丁目）

開催費用：会場費1,900円，スクリーン代200円

演者および演題（各30分前後）

- 1) 石崎俊一：海外プロジェクトに係わる地質技術者の役割（概要）
- 2) 山岸宏光・松田義章：ブラタモリ室蘭のその後
- 3) 松田義章：都市景観（特に建造物）の形成における「石材」の活用とその地質学的背景
～主に札幌軟石と小樽軟石を例として～
- 4) 岩間唯史：小中学校での地学教育の現状

出席者 在田一則，石崎俊一，岩間唯史，岡 孝雄，岡村 聡，嵯峨山 積，関根達夫，
高田忠彦，高波鐵夫，前田仁一郎，松田義章，宮坂省吾，宮下純夫，山岸宏光
（計14名）

発表はいずれも興味深い内容で、活発な質疑が行われた。発表終了後に前田理事長より新型コロナ下による活動や4月予定の総会等についての閉会挨拶があった。

第3回会員交流会担当 嵯峨山